会報 長野マスターズ
第 26 号
2012. 12. 25
長野マスターズ陸上競技連盟
編集 広報委員会

大接戦を制し２連覇達成
第25回都道府県対抗全日本マスターズ駅伝競走大会

昨年まで男女別で行われていた駅伝が今年は男女混合になり東京武蔵野の森公園内特設コースで11月11日に開催されました。昨年は男子優勝、女子3位の長野は混合になってももちろん優勝を目標に選手選考を行い、ベストのメンバーが組め前日に東京へ乗り込みました。大会当日は雨の予報でしたが、マスターズの選手の熱気でなんとか天気が持ち、まずまずのコンディションでスタートしました。

1位　長野　2時間21分26秒
2位　東京　2時間21分52秒
3位　兵庫　2時間21分56秒
4位　愛知　2時間22分34秒

このタイム差が示す通り4チームによる大接戦を制し見事に長野が2連覇しました。

1区はW30の区間でしたがW40の前島紀子さん（富士見町）が積極的な走りで東京に次いで13秒差で2区（M40）利根川裕雄選手（千曲市）へ。予想通りの見事な区間賞の走りでトップに立ち2位東京に51秒の差をつけ3区（M50）市川武選手（長野市）へ。市川選手もトップを快走し4区（W40）の横打一愛さん（伊那市）へ中継し、この時点で2位に上がってきた兵庫に1分11秒差、1秒差で東京、6秒差で愛知と2位以下が混戦になって来ました。横打さんもプレッシャーの中、必死で逃げトップで5区（M55）徳武雄次郎選手（長野市）へ。しかし2位争いで抜け出た愛知が11秒差で猛追し東京、兵庫と続き優勝争いが混沌としてきました。徳武選手も区間2位の走りで愛知、東京を引き離すも、兵庫がまた盛り返し24秒差で2位に。6区（M45）小口秀哉選手（下諏訪町）も区間3位の走りでトップをキープするも2位兵庫が9秒差で続き7区（M60）佐藤悦夫選手（須坂市）へ。佐藤選手も必死で逃げ中間点で抜かれはしたが我慢の走りで食らい付き2秒差2位でアンカー8区（M35）松野淳司選手（塩尻市）へ。松野選手もM40なので下のクラスではきついかと思いきや、すぐ併走し中間過ぎで一気に引き離し、見事昨年に続きトップでゴールテープを切りました。地元東京がゴール前で兵庫を逆転して2位に入りました。今大会は観客にとっては非常に見応えのあるレースでしたが、選手にとっては2連覇というプレッシャーのなかでの優勝で喜びもひとしおでした。

10分後にスタートしたエルダーの部は、前日に急遽補欠選手への入れ替えがあり心配しましたが無事タスキが繋がり14位とまずまずの結果でした。それと補欠選手で参加していただいた5名は5kmのロードレースで優勝するなど、それぞれ活躍されました。これもひとえに長野マスターズ陸上競技連盟の皆様のご支援があっての事と感謝申し上げると共に来年は3連覇に向け更なる飛躍を目指したいと思います。ありがとうございました。

＜区間成績＞

			記録	
１区(W30-35/5.195km)	前島紀子	2	18分37秒	②
２区(M40/5km)	利根川裕雄	1	14分47秒	①
３区(M50/5km)	市川武	1	16分46秒	⑤
４区(W40-45/4km)	横打一愛	1	15分15秒	④
５区(M55/5km)	徳武雄次郎	1	16分55秒	②
６区(M45/5km)	小口秀哉	1	16分02秒	③
７区(M60～/5km)	佐藤悦夫	2	18分16秒	⑥
８区(M35/8km)	松野淳司	1	24分48秒	⑤

選手名の右数字が通算順位、記録の右○数字が区間順位

駅伝委員長　佐藤　悦夫

「第17回アジアマスターズ陸上選手権大会」参戦記

5000m競歩 W60 "29分56秒24" 大会新、日本新、アジア新で1位

2012アジアマスターズ陸上選手権大会が台北市の台北スタジアムで11月2日から7日まで開催されました。私は2009年から始めた競歩で今回のアジア大会に参加したいと言う強い思いで初参加をいたしました。今大会もタイムテーブルの変更が多く、私の参加する5000m競歩もその一つでした。日時が時間変更となり5日の20時開始となりました。私は今までこの時間に競技することがなく戸惑いを感じました。11月の台北は秋とは言うものの長袖と半袖との入り混じった半端な季節です。当日は夕方から雨が降り始め肌寒さを感じましたが運よく競技前には雨はあがりました。私の出場する5000m競歩はW60とW45の同時スタートです。全体で20人位です。そのため２段スタートとなるのですがスタートラインの指示が終わるか終わらないうちにスタートとなってしまいました。スタート前の緊張感を感じている時間もありませんでした。先ずは前に行かなければなりません。しかし競歩と言う競技は3回のルール違反により失格となってしまいますのでゴールまで気が抜けません。まずは無事ゴールできることです。ここまで来て失格はつらいです。さて競技は、私の前をW45の選手が１人その次に私と言う順番です。1000m通過5分55秒前後のスローペースですがそれが私にとって丁度良いペースメーカーとなってくれました。離れず追いつけずのまま残り2～3周になった時は差がかなり縮まったのですが、ラスト100mで開いてしまい差が10秒程ついてしまいましたが、私は２番目でゴールをしました。記録は"29分56秒24"W60 1位、大会新、アジア新、日本新と初出場にして３っを同時に達成することができ大変嬉しく心に残る大会でした。やはり今回の目標は30分を切ることでしたので私としては目標達成です。

今年は60歳になった年、W60の記録更新のチャンスの時でもありました。また次なるステップに向け一歩一歩目標に近づけていきたいと思います。

生涯スポーツであるマスターズ、5年ごとにチャンスは巡って来ます。それも楽しみの１つです。私よりも多くの大先輩が競技をしています。60歳はまだまだこれからです。今後も自分を信じて記録にチャレンジです。又チャンスがあれば世界大会へも参加をしていきたいと思います。

飯伊支部 W60 矢沢　美代子

第15回長野マスターズ陸上競技長野市大会

期日　2012年10月7日　　場所　長野市営陸上競技場

（各種目１位と長野県選手全員）

◎　日本新記録
☆　県新記録
★　創設・県新記録
○　大会新記録
●　創設・大会新記録
△　大会タイ記録

県新７　創設県新１　大会新３３　大会タイ１　創設大会新１６

第１５回長野マスターズ陸上競技長野市大会は１０月７日（日）長野市営陸上競技場で好天の下県外を含む多くの選手が参加して開催されました。今大会も多くの新記録が誕生いたしました

種目（男子）	クラス	順位	記録	風速	氏名	年齢	所属	新記録
60m	SM30	1	7.47	+0.6	岡本　真平	33	長野	
	SM30	2	7.71	+0.6	島津　英明	30	長野	
	M35	1	7.35	+0.6	高橋　邦幸	35	長野	○
	M35	2	7.93	+0.6	小松　真人	39	長野	○
	M40	1	7.44	−1.0	宮本　義久	44	神奈川	○
	M40	2	7.81	−1.0	中嶋　憲一	43	長野	
	M40	3	8.26	−1.0	養田　匡彦	42	長野	
	M40	4	8.60	−1.0	伊藤　昭典	42	長野	
	M45	1	8.25	−1.0	佐野　浩二	46	長野	
	M45	2	8.47	−1.0	山野井　宏彰	49	長野	
	M50	1	7.81	−0.2	杉崎　和彦	50	神奈川	○
	M50	2	7.84	−0.2	田中　淳	51	長野	☆○
	M50	3	8.13	−0.2	尾坂　公一	52	長野	
	M50	4	8.42	−0.2	会津　英昭	52	長野	
	M50	5	8.57	−0.2	村上　慶二	52	長野	
	M50	6	9.25	−0.2	矢野口　仁	54	長野	
	M50	7	9.62	−0.2	小澤　嘉寛	54	長野	

種目（男子）	クラス	順位	記録	風速	氏名	年齢	所属	新記録
60m	M55	1	8.30	+0.5	川﨑　昭二	55	東京	●
	M55	2	9.64	+0.5	泉　從道	58	長野	
	M60	1	8.76	+0.5	三浦　紹光	62	長野	
	M65	1	9.45	+0.5	橋本　幸治	69	長野	
	M70	1	9.64	+0.5	桜井　武雄	73	長野	
	M70	2	9.88	+0.5	伊東　一修	71	長野	
	M70	3	9.94	+0.5	齋藤　充司	73	長野	
	M70	4	10.48	+0.5	藤木　和直	73	長野	
	M75	1	9.06	+0.5	中澤　常明	76	山梨	○
	M80	1	12.57	+0.5	矢野口　寛	87	長野	
100m	SM30	1	11.80	+0.4	岡本　真平	33	長野	
	SM30	2	12.32	+0.4	島津　英明	30	長野	
	M35	1	11.71	+0.4	高橋　邦幸	35	長野	
	M35	2	12.69	+0.4	小松　真人	39	長野	
	M35	3	13.15	+0.4	望月　貴徳	36	長野	
	M35	4	13.54	+0.4	赤瀬　崇	39	長野	
	M35	5	15.92	+0.4	小林　和久	37	長野	

種目（男子）	クラス	順位	記録	風速	氏名	年齢	所属	新記録
	M40	1	11.60	+0.8	宮本　義久	44	神奈川	○
	M40	3	12.14	+0.8	中嶋　憲一	43	長野	
	M40	5	13.84	+0.8	伊藤　昭典	42	長野	
	M45	1	12.83	+0.7	佐野　浩二	46	長野	
	M45	2	13.35	+0.7	加藤　則行	47	長野	
	M45	3	13.45	+0.7	宮阪　直央	49	長野	
	M45	4	13.46	+0.7	山野井　宏彰	49	長野	
	M45	5	13.82	+0.7	橘　麗仁	47	長野	
	M50	1	12.39	+0.7	杉崎　和彦	50	神奈川	
	M50	2	12.47	+0.7	田中　淳	51	長野	
	M50	3	13.22	+0.7	尾坂　公一	52	長野	
	M50	4	13.52	+0.7	会津　英昭	52	長野	
	M50	5	13.71	+0.7	湯本　与志文	53	長野	
	M50	7	14.12	+0.7	村上　慶二	52	長野	
	M50	8	14.49	+0.7	櫻井　正元	53	長野	
	M55	1	15.05	+0.2	西村　克彦	59	長野	
	M60	1	14.02	+0.2	三浦　紹光	62	長野	
	M60	2	14.43	+0.2	土屋　春一	64	長野	
	M65	1	13.98	+0.2	天沼　昭彦	68	東京	○
	M65	2	15.07	+0.2	橋本　幸治	69	長野	
	M70	1	15.92	−0.1	桜井　武雄	73	長野	
	M70	2	16.31	−0.1	伊東　一修	71	長野	
	M70	3	17.05	−0.1	齋藤　充司	73	長野	
	M70	4	17.31	−0.1	藤木　和直	73	長野	
	M75	1	17.55	−0.1	下條　義彦	75	新潟	
200m	SM30	1	23.88	+2.0	岡本　真平	33	長野	
	M35	1	25.64	+2.0	小松　真人	39	長野	
	M40	1	23.53	+2.0	小西　優	43	神奈川	○
	M40	3	24.34	+2.0	中嶋　憲一	43	長野	☆
	M45	1	26.33	+2.0	佐野　浩二	46	長野	
	M50	1	25.79	+2.3	田中　淳	51	長野	
	M50	2	30.32	+2.3	宇羽野　弘	53	長野	
	M55	1	29.73	+2.3	小林　博幸	57	長野	
	M55	2	31.62	+2.3	浅品　孝史	56	長野	
	M60	1	26.04	+2.3	高橋　政幸	61	長野	
	M60	2	30.39	+2.3	土屋　春一	64	長野	
	M65	1	31.82	+1.4	橋本　幸治	69	長野	
	M65	2	32.59	+1.4	高田　次雄	65	長野	
	M70	1	34.08	+1.4	桜井　武雄	73	長野	
	M75	1	36.36	+1.4	久保田　稔	75	長野	
400m	SM30	1	54.32		島津　英明	30	長野	○
	M35	1	59.67		望月　貴徳	36	長野	
	M35	2	1.08.60		森田　佳隆	39	岐阜	
	M45	1	1.04.37		坂本　隆一	46	長野	
	M50	1	1.09.51		石川　威	52	新潟	
	M55	1	1.09.41		浅品　孝史	56	長野	
	M65	1	1.14.26		高田　次雄	65	長野	
	M70	1	1.21.60		伊東　一修	71	長野	
	M75	1	1.28.89		久保田　稔	75	長野	○
800m	M45	1	2.24.12		笠原　孝志	49	長野	
	M50	1	2.31.99		藤沢　久義	50	長野	
	M50	2	2.35.52		内田　正直	53	長野	
	M55	1	2.37.83		早川　祐一	55	長野	
	M55	2	2.39.65		浅品　孝史	56	長野	
	M60	1	2.54.48		依田　邦人	61	長野	
1500m	M40	1	4.36.30		手塚　寿利	43	長野	
	M50	1	5.17.54		内田　正直	53	長野	
	M55	1	5.28.68		早川　祐一	55	長野	
	M55	2	6.16.95		泉　從道	58	長野	
	M65	1	6.07.06		小出　耕司	65	長野	
	M75	1	6.04.12		小口　親司	76	長野	☆○
3000m	M45	1	11.08.50		笠原　孝志	49	長野	
	M45	2	11.34.30		神崎　実	46	長野	
	M50	1	11.04.60		内田　正直	53	長野	
	M60	1	13.25.60		依田　邦人	61	長野	
	M60	2	14.09.62		清水　智	60	長野	
	M65	1	12.54.85		小出　耕司	65	長野	
	M65	2	13.01.15		原　英充	68	長野	
	M70	1	16.09.65		藤木　和直	73	長野	
	M75	1	12.45.28		小口　親司	76	長野	○
5000m	M45	1	20.25.44		山中　勝也	46	富山	
	M50	1	19.26.29		小川　広志	52	長野	
	M55	1	20.56.21		早川　祐一	55	長野	
	M55	2	23.43.65		泉　從道	58	長野	
	M60	1	20.15.23		三浦　正司	63	長野	○
	M65	1	21.13.17		保科　清	65	長野	

種目（男子）	クラス	順位	記録	風速	氏名	年齢	所属	新記録
	M70	1	20.34.19		横田　俊泰	70	富山	○
110mH	SM25	1	16.59	+0.6	中嶋　友也	27	長野	●
	M35	1	17.85	+0.6	瓶子　大介	38	新潟	
	M35	2	20.84	+0.6	赤瀬　崇	39	長野	
	M40	1	19.58	+0.6	上條　健	42	長野	●
	M45	1	16.99	+0.6	細嶋　毅	48	京都	○
	M45	2	19.27	+0.6	加藤　則行	47	長野	
100mH	M50	1	15.83	0.0	関　和夫	51	静岡	○
	M50	2	18.10	0.0	藤牧　博和	51	長野	
	M60	1	14.63	+1.3	高橋　政幸	61	長野	
80mH	M75	1	18.63	−0.7	下條　義彦	75	新潟	●
走高跳	M50	1	1.65		百瀬　晶文	51	長野	○
	M50	2	1.50		藤牧　博和	51	長野	
	M50	3	1.40		北野　文彦	50	長野	
	M55	1	1.50		西村　克彦	59	長野	△
	M55	2	1.45		宮本　吉豊	57	長野	
棒高跳	M50	1	3.40		小山　吉明	54	長野	
	M60	1	2.80		建部　猛	62	新潟	●
走幅跳	SM30	1	5.17	+1.1	日馬　正貴	34	長野	
	M35	1	5.88	−0.1	宮澤　憲二	38	長野	
	M35	2	5.69	−0.3	都築　良平	37	長野	
	M40	1	5.64	+2.4	上條　健	42	長野	
	M40	2	5.47	+1.1	中村　敏	41	長野	
	M40	4	4.99	+0.1	養田　匡彦	42	長野	
	M50	1	5.33	+1.1	百瀬　晶文	51	長野	
	M50	2	5.21	0.0	藤牧　博和	51	長野	
	M50	3	5.18	0.0	森山　文雄	52	長野	
	M55	1	5.35	+2.1	川﨑　昭二	55	東京	
	M55	2	4.91	+0.7	前川　和夫	56	長野	○
	M60	1	4.29	+1.0	土屋　春一	64	長野	
	M75	1	3.36	+1.1	久保田　稔	75	長野	●
三段跳	SM30	1	12.25	+1.0	日馬　正貴	34	長野	
	M50	1	11.19	+0.8	百瀬　晶文	51	長野	
	M55	1	10.91	+1.7	川﨑　昭二	55	東京	
	M55	2	10.37	+0.7	宮本　吉豊	57	長野	
砲丸投	M40	1	9.21		牧野　圭介	41	長野	
	M40	2	8.04		堀田　康浩	40	長野	
	M45	1	7.49		長岩　富士男	47	長野	
	M50	1	11.49		澤口　通洋	52	長野	
	M55	1	9.36		宮川　和男	56	長野	
	M55	2	7.91		大宮　直人	58	長野	
	M60	1	9.15		福田　安孝	60	埼玉	
	M65	1	8.20		高橋　邦武	69	長野	
	M75	1	9.12		山田　昭吾	75	新潟	○
	M85	1	7.00		矢野口　寛	87	長野	
円盤投	M35	1	24.03		宮澤　憲二	38	長野	
	M40	1	24.06		堀田　康浩	40	長野	
	M40	2	23.38		中村　敏	41	長野	
	M45	1	22.40		長岩　富士男	47	長野	
	M45	3	15.05		吉村　智之	48	長野	
	M50	1	34.89		澤口　通洋	52	長野	
	M55	1	23.76		小松　忠晃	55	長野	
	M55	2	21.07		大宮　直人	58	長野	
	M55	3	18.14		樋口　一敬	57	長野	
	M60	1	28.87		福田　安孝	60	埼玉	
	M70	1	36.09		山田　栄一郎	72	長野	
	M70	2	30.26		布施　元弘	72	長野	
	M75	1	25.03		山田　昭吾	75	新潟	○
	M75	2	23.61		佐々木　敏夫	79	長野	☆○
	M80	1	12.99		堀内　正美	83	長野	
ハンマー投	M50	1	43.90		小林　靖志	51	長野	
	M55	1	19.70		高山　幹也	55	三重	
	M60	1	24.18		福田　安孝	60	埼玉	
	M75	1	25.17		佐々木　敏夫	79	長野	
	M80	1	15.43		堀内　正美	83	長野	
やり投	M40	1	44.09		須崎　一弘	42	長野	
	M45	1	44.08		森　憲之	49	長野	
	M45	2	39.55		松澤　洋	46	長野	
	M50	1	39.48		澤口　通洋	52	長野	
	M50	2	28.32		宇羽野　弘	53	長野	
	M55	1	36.35		宮川　和男	56	長野	
	M65	1	30.91		高橋　邦武	69	長野	
	M70	1	32.96		安川　春夫	71	神奈川	
	M70	2	32.78		布施　元弘	72	長野	
	M75	1	22.26		佐々木　敏夫	79	長野	
	M80	1	11.88		堀内　正美	83	長野	

種目	クラス	順位	記録	風速	氏名	年齢	所属	新記録
五種競技	SM25	1	1892		中嶋 友也	27	長野	●
	SM30	1	1791		赤澤 雄一	33	岩手	●
	SM35	1	2344		宮澤 憲二	38	長野	
	SM35	2	2005		赤瀬 崇	39	長野	
	M40	1	2753		小川 智明	43	石川	○
	M40	2	2326		福島 健一	42	長野	
	M40	3	1948		上條 健	42	長野	
	M45	1	2758		井村 政弘	45	石川	○
	M45	2	2427		松澤 洋	46	長野	
	M45	4	1805		井上 正徳	47	長野	
	M50	1	3206		笹野 幸夫	50	東京	○
	M55	1	2459		太田 忠	55	兵庫	
	M60	1	2727		本多 和彦	64	群馬	
（女子）								
60m	W35	1	8.98	+1.7	青木 江里	37	長野	●
	W35	2	10.01	+1.7	中嶋 佳子	38	長野	
	W40	1	8.47	+1.7	中村 智子	42	長野	☆○
	W45	1	8.54	+1.7	安田 弘江	45	長野	★●
	W60	1	9.50	+1.7	井尻 けさ代	64	長野	
	W70	1	12.11	+1.7	鶴見 文子	73	長野	
100m	W35	1	14.88	−0.5	青木 江里	37	長野	
	W35	2	15.17	−0.5	大坪 裕	36	長野	
	W35	3	16.55	−0.5	中嶋 佳子	38	長野	
	W45	1	14.26	−0.5	西澤 香	45	長野	○
	W60	1	15.59	−0.5	井尻 けさ代	64	長野	
	W70	1	20.84	−0.5	鶴見 文子	73	長野	
200m	SW25	1	33.94	+0.3	曽我 志保子	28	岐阜	●
	W60	1	32.59	+0.3	井尻 けさ代	64	長野	

種目	クラス	順位	記録	風速	氏名	年齢	所属	新記録
（女子）								
800m	SW25	1	2.58.70		曽我 志保子	28	岐阜	●
	W55	1	3.09.17		友野 優子	56	長野	
1500m	W30	1	5.10.46		大矢 優子	33	長野	
	W55	1	6.17.79		友野 優子	56	長野	
	W60	1	7.03.66		薩摩林 一代	62	長野	
3000m	W40	1	13.02.38		小穴 こず江	42	長野	
	W55	1	12.59.49		友野 優子	56	長野	☆○
	W60	1	14.13.86		薩摩林 一代	62	長野	
5000m	W40	1	22.21.57		小穴 こず江	42	長野	●
80mH	W40	1	13.05	+2.0	中村 智子	42	長野	☆○
	W45	1	13.56	+2.0	安田 弘江	45	長野	●
走高跳	W55	1	1.21		宮澤 玲子	56	長野	●
走幅跳	W35	1	3.99	−0.4	大坪 裕	36	長野	
	W45	1	5.06	−0.1	安田 弘江	45	長野	●
	W45	2	5.01	+0.6	西澤 香	45	長野	
	W70	1	2.69	+1.7	鶴見 文子	73	長野	○
砲丸投	W40	1	7.76		中村 智子	42	長野	○
	W55	1	8.05		村上 美乃	57	静岡	
	W65	1	7.89		市川 節子	68	長野	○
	W70	1	6.79		馬場 重子	71	長野	○
円盤投	W55	1	22.62		村上 美乃	57	静岡	
	W65	1	19.57		市川 節子	68	長野	
	W70	1	14.61		馬場 重子	71	長野	
ハンマー投	W55	1	23.01		村上 美乃	57	静岡	
やり投	SW25	1	12.77		曽我 志保子	28	岐阜	
	W55	1	20.56		建部 園枝	58	新潟	
	W65	1	18.88		市川 節子	68	長野	

支部だより　安曇平支部

支部紹介をと言われて、はて紹介する程のことをやっているかなと戸惑ってしまいました。でもまあ支部があるのだし、特別のことがなくとも現状をお知らせすればよいのかなと気軽に考えることにしました。

こちらは平成15年「安曇野支部」として県事務局の仕事を少しでもお手伝いするため発足しました。南、北安曇郡と大町市です。大日向さんに指導していただきながら、先ず登録作業から始めこの年の会員は16名でした。平成17年には平成の大合併があり、梓川村が松本市へ、明科町が安曇野市へ編入されまして支部名を「安曇平支部」と改名いたしました。支部会員数は20～25名で推移し今年は29名となりました。

毎年、登録事務と県内大会の取りまとめに精一杯で、独自に競技会を開催したり交流会をもつ支部もあるという話を耳にしてこれではいけないと思いながらとてもそんなゆとりはありませんでした。でもやはり何かしなくてはという責任を感じ今年3月初めて会員懇親会として昼食をとりながら顔合わせをしました。出席くださったのは9名でしたがとても和やかに会話も弾み、陸上競技大好きの熱さも伝わり情報交換も出来て、これは毎年開かなくてはと背中をおされました。

個人的に今の悩みは、世の中が進化しパソコンを自由自在に操作出来ないと何をするにも時間がかかるということです。誰か若手に代わってもらう時期に来ているのを痛感しています。

安曇平支部はこんな支部です。会員には永く楽しく頑張ってもらいたいと願っています。

支部事務局　鶴見 文子

編集後記

台湾で開催された第１７回アジアマスターズ陸上選手権大会には、県内から男性５名、女性２名が参加されました。代表して矢沢美代子様に参戦記を寄稿いただきました。今年の会報は、多くの会員の皆様より原稿をいただきました。会員皆様のご協力をいただき長野マスターズ陸上連盟の色々な活動をお伝えできればと思います。掲載内容についてご意見等ありましたら各支部事務局へお寄せください。
次号の支部だよりは「中野・須坂支部」を予定しております。

（広報　原）